



i+hubで 社内の意見共有をよりスムーズに

- 企業名** 株式会社 秀光
業種 家具製造販売/内装工事
利用シーン 社内打合せ
企業概要 家具の製造販売からオフィス内装のデザイン・施工までを手掛けるものづくり企業。メガバンクをはじめとした銀行店舗を中心に、使いやすさ・美しさ・環境を考えた空間作りを行う。



今回は本社オフィスに勤務する、開発ユニット鈴木様、秀光ONEユニット知久様にお話を伺いました。



導入前の課題

- » 社長に提案を行う際、紙に印刷したり個人のタブレットに資料を共有したりなどの手間がかかっていた。
- » 参加人数が多い社内打合せの場合、全員が同時に資料を見ることが難しかった。

導入後の変化

- » 提案がスムーズになり、大画面で参加者が資料を確認することが可能になった。
- » 資料印刷の必要がなくなったため、紙の無駄を削減。



i+hub導入のきっかけ

イグアス:i+hubの導入経緯を教えてください。

知久様:一昨年の12月に弊社の本社オフィスをリニューアルしました。具体的には各デスクのサイドキャビネットを廃止し、社内全体で紙の使用量を減らすことを目的に取り組んでいます。

鈴木様:その前段階としてMAXHUBも2台会議室に導入させていただきました。

もともと弊社では社長と社員の距離が近く、社長室で直接図面や資料を見せて説明することも多いのですが、社長



室にはミラーリング専用のディスプレイとして、15年くらい前のテレビモニターしかありませんでした。

社長自身はPCを使用しないので、モニタにApple TVを経由してスマートフォンの画面をミラーリングしていたのですが、社員がふだん使用しているPCの画面を投影することができず、不便を感じていました。

とくにテレビの機能を使っているわけでもなかったのに、社長室にミラーリング可能なディスプレイを導入しようとしたところ、イグアスさんの会議室や、別のお客様でもi+hubが導入されていたのを見て、弊社内でも導入に至りました。

イグアス: 弊社(イグアス)は2024年6月に会議室フロアを全面改装し、すべての会議室にi+hubを導入いたしました。知久様はその改装にも携わっていただきましたが、i+hubの第一印象はいかがでしたか？

岩淵様: エントランスに入ったときに大きな画面でプロモーション映像を流しているのを見て、目を惹かれました。

アイズブレイクを制する者は仕事を制す？

イグアス: i+hub導入前・後に変化はありましたか？

知久様: 弊社ではABW(アクティビティ・ベースド・ワーキング)を採用しており、固定のデスクで仕事するのではなく、図面の設計などの業務に応じて対応するソフトが入っているPCを使用するため、社内の1/3がデスクトップPCとなっています。なので、社長室に資料を持っていくために図面を紙に印刷したり個人のタブレットに一時的に共有したりという手間が発生していました。また、人数が増えると資料が見つづらくなり、説明しづらい状態になっていました。

鈴木様: i+hub導入後はドングルを使用してPCの資料を投影することが可能になりましたし、以前のようにApple TVを経由してスマートフォンの画面をミラーリングすることもできますので、資料を共有しながらの打ち合わせがとても楽になりました。わざわざ印刷する必要もなくなりましたので、不要な紙の削減にも役立っています。複数の画面を同時にミラーリングできることもわかったので、今後はそちらの機能も使ってみたいです。

イグアス: 本日は貴重なお話をありがとうございました。



株式会社イグアス

ビジネス開発本部
戦略システム開発部

 ihub@i-guazu.co.jp

 <https://www.i-guazu.co.jp/lp/ihub>